



佐倉市地域公共交通会議

H27年8月6日(木)午前10時～

議会棟 全員協議会室

# 目次

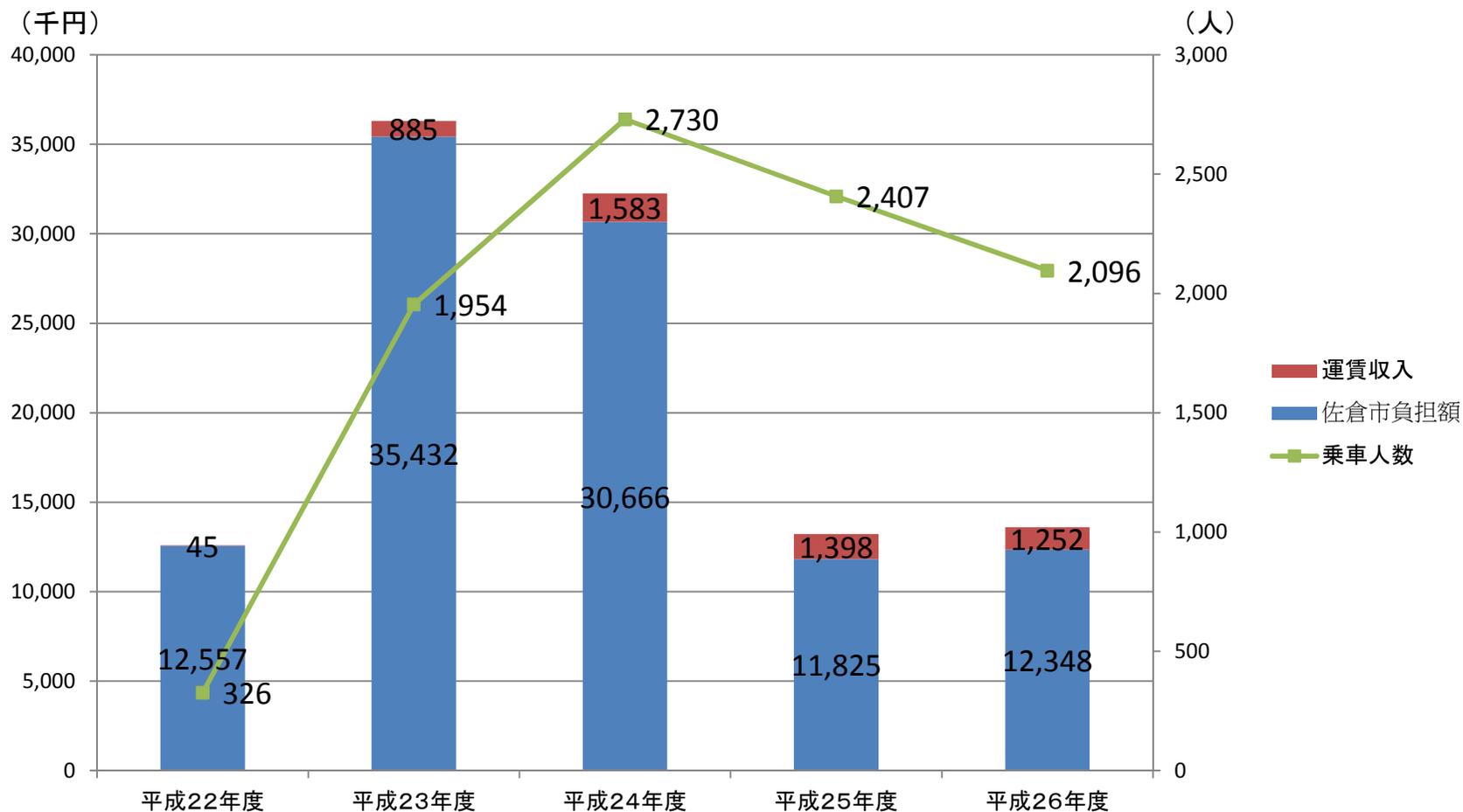
1 南部地域デマンド交通の運行継続について	P1
実証運行以降の経緯	P2
実証運行以降の利用状況推移	P3
今年度の利用状況(昨年度比)	P4
来年度以降の運行継続について	P5
来年度以降の運行スケジュールのイメージ	P6
2 地域公共交通網形成計画の策定について	P7
まちづくりと地域公共交通が直面している現状	P8
公共交通に求められる役割	P9
まちづくりと一体となった公共交通施策	P10
計画の策定体制	P11
計画策定の作業スケジュール・作業概要	P12
3 佐倉市循環バスの実績報告	P13
年度別乗車状況及び運賃収入	P14
佐倉市循環バスの平成26年度実績	P15

# 1 南部地域デマンド交通の運行継続について

# 実証運行以降の経緯

年月	主な事業内容など	契約期間
平成22年11月 (実証運行1年目)	佐倉市公共交通総合連携計画に位置付けられた事業として、実証運行を開始。 (車両台数3台で運行)	年度ごとの 委託契約
平成23年10月 (実証運行2年目)	運行要望が多かった、JR佐倉駅・京成佐倉駅までの乗り入れを開始。	
平成24年4月 (実証運行最終年)	車両の稼働状況を分析し、土日祝日の運行台数を2台に削減。	
平成25年4月 (本格運行1年目)	実証運行を経て、本格運行へ移行。車両の稼働状況から、運行台数を全日1台に削減。	3年間の委託契約
∫	∫	
平成28年3月	3年間の運行業務委託の契約期間終了。	

# 実証運行以降の利用状況推移

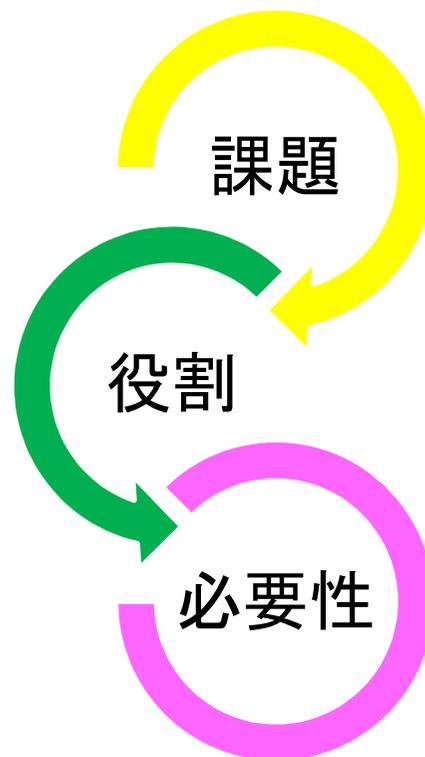


# 今年度の利用状況(昨年度比)



# 来年度以降の運行継続について

実証運行開始以後6年が経過する中で、地域の公共交通として一定の役割を担ってきました。

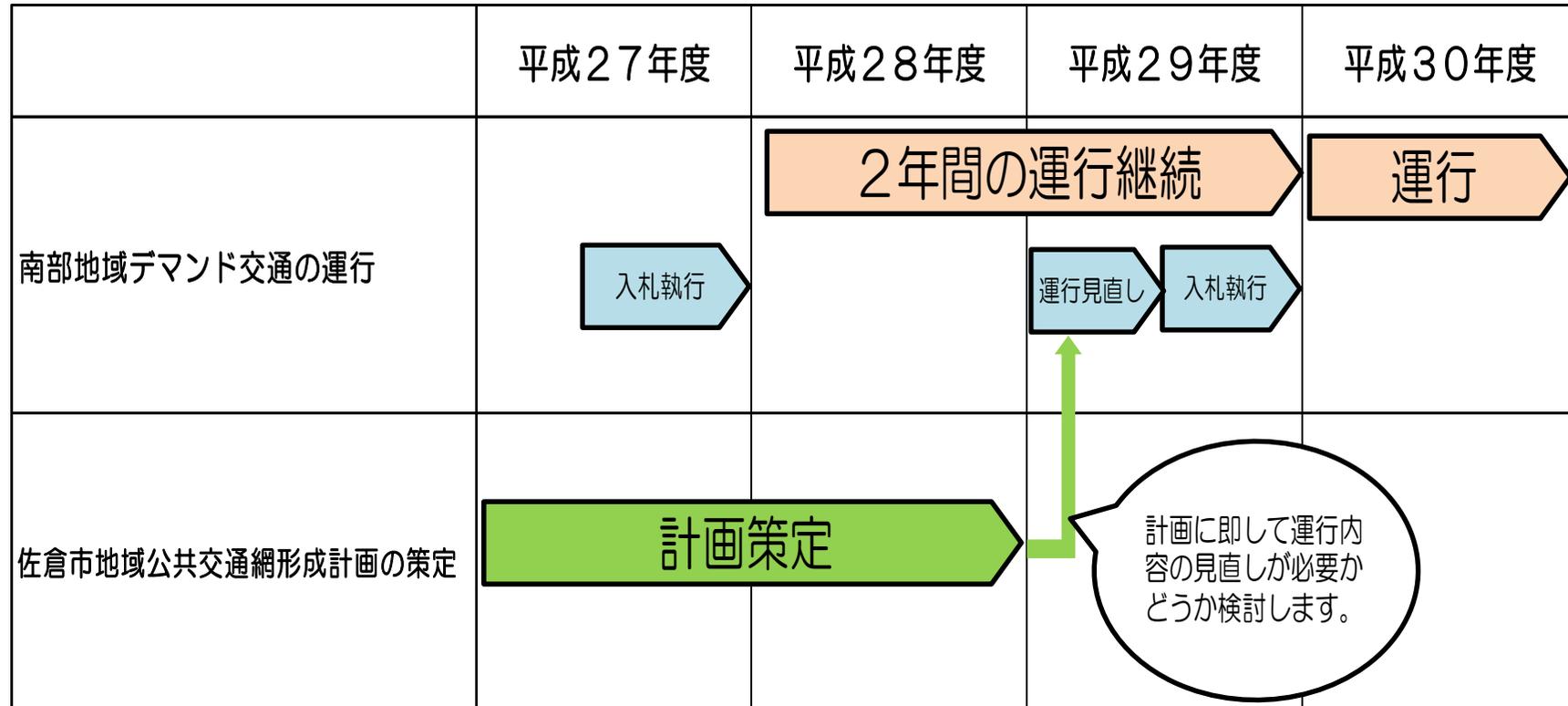


この2年間は利用者数が減少しており、運行改善の検討など課題を抱えています。

課題を抱えつつも、市としてはこの地域の公共交通としてデマンド交通は極めて必要性が高いものと考えております。

平成28年度から2年間の運行継続について、公共交通会議でもその必要性を承認いただきたくお諮りするものです。

# 来年度以降の運行スケジュールのイメージ



## 2 地域公共交通網形成計画の策定について

---

# まちづくりと地域公共交通が直面している現状

居住環境  
古くに開発された住宅団地の空き家増加。  
縁辺部の小規模開発。  
農村部の人口減少。



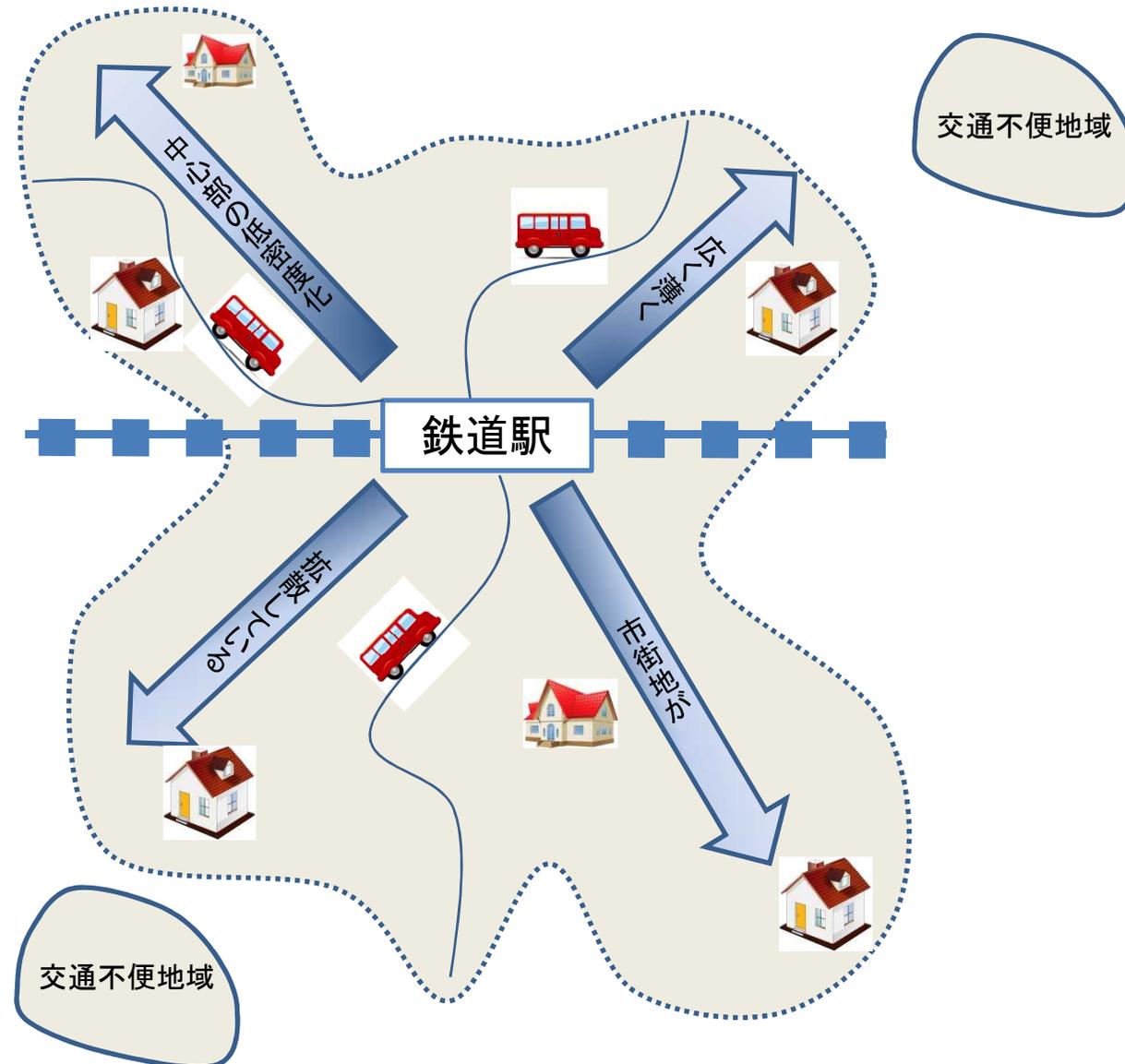
低密度な市街地が拡散



バス路線  
いずれの路線も低頻度の運行しか維持できない



マイカーから  
離れられない状況



# 公共交通に求められる役割

## 地域住民の移動手段の確保

運転のできない学生、高齢者、障害者、  
妊婦等の交通手段の確保

## 公共交通による都市機能の 効率化

諸機能が集約した起点間、または  
拠点と住居地を結ぶ交通手段の提供

## まちの賑わい創出・健康増進

外出機会の増加による  
賑わい創出や健康増進への寄与

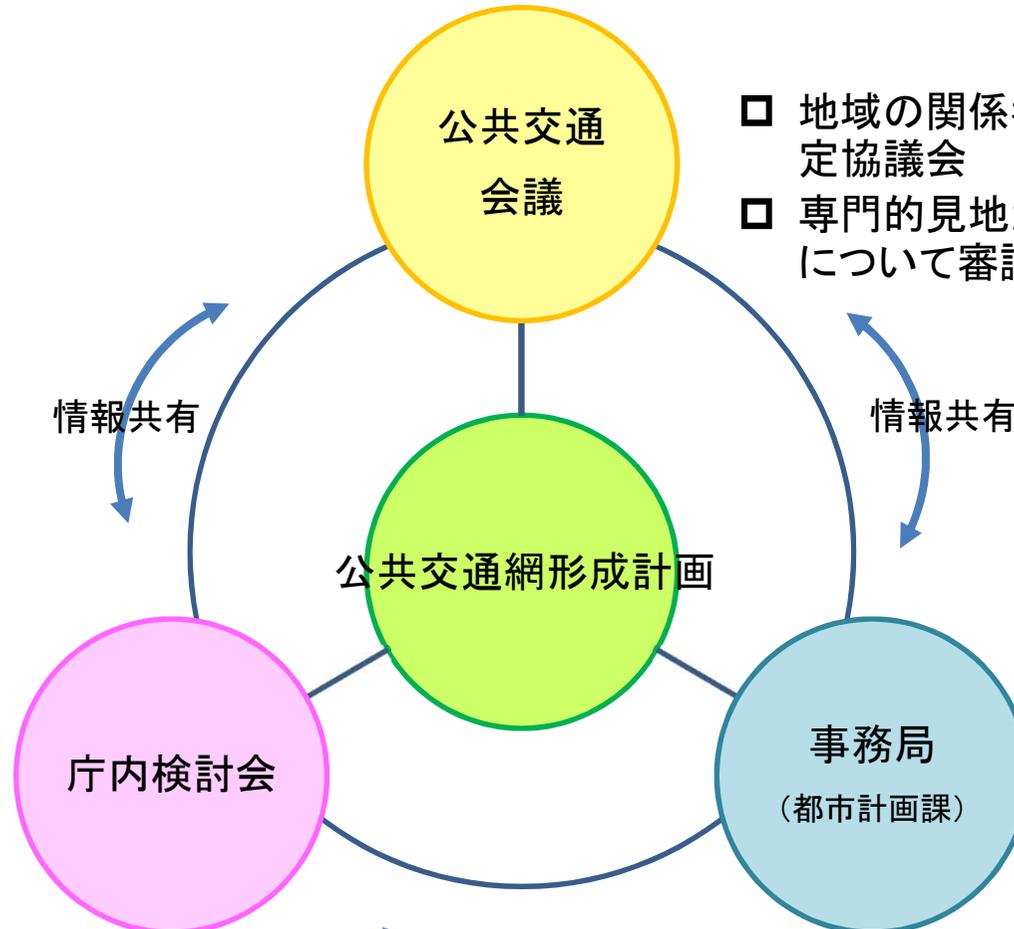
## 人の交流の活性化

観光客等の来訪者の移動の利便性や  
回遊性の向上により人の交流を活発化

# まちづくりと一体となった公共交通施策 ～地域公共交通網形成計画の目指す都市の姿～



# 計画の策定体制

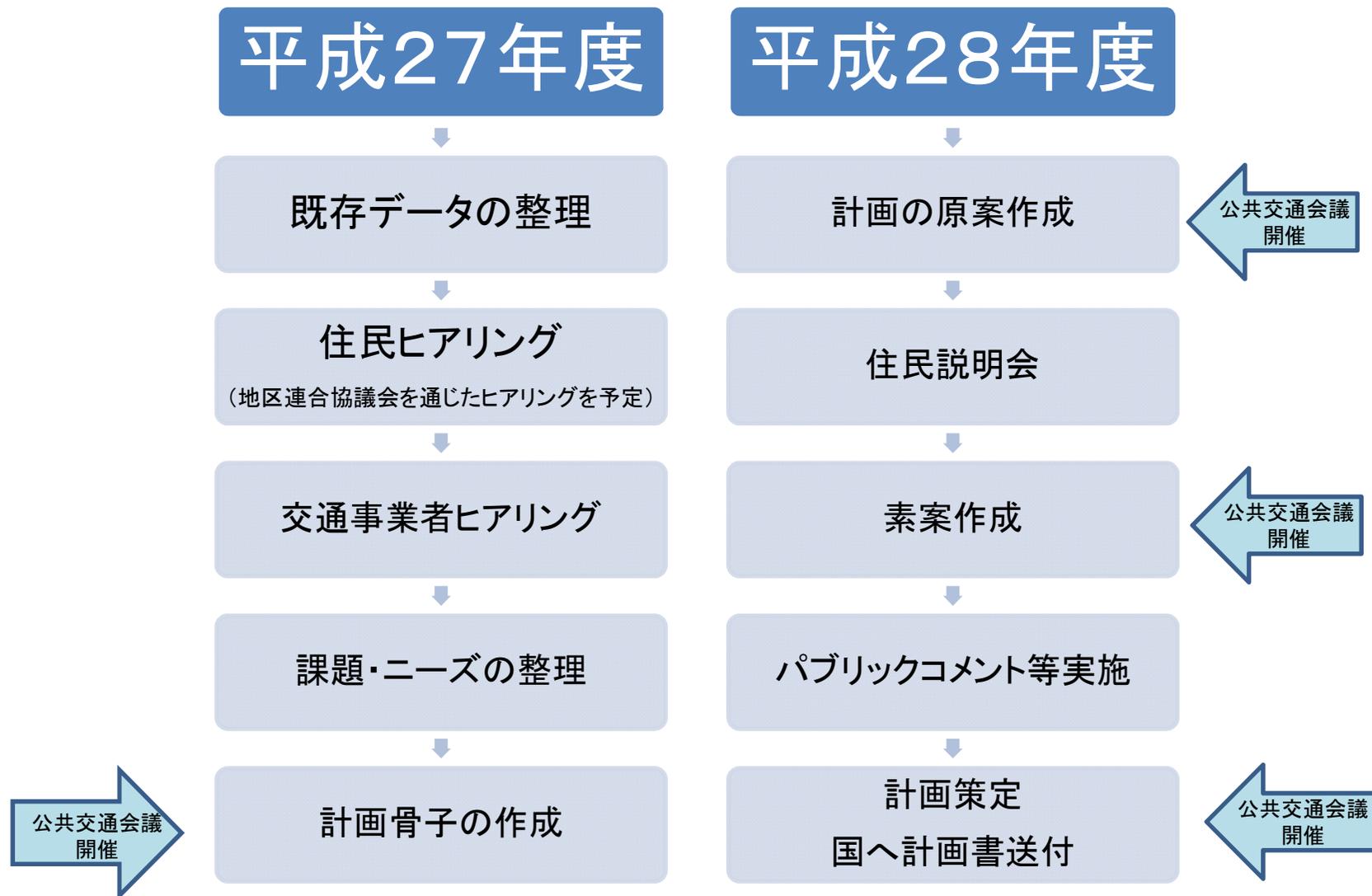


- 地域の関係者を集めた法定協議会
- 専門的見地から形成計画について審議

- 市内部の関係部署を集めた検討組織
- 市の総合的な施策や福祉、観光との連携を図りつつ、計画について検討を行う

- 現況調査、市民ニーズの把握、交通事業者との意見調整等を行う。

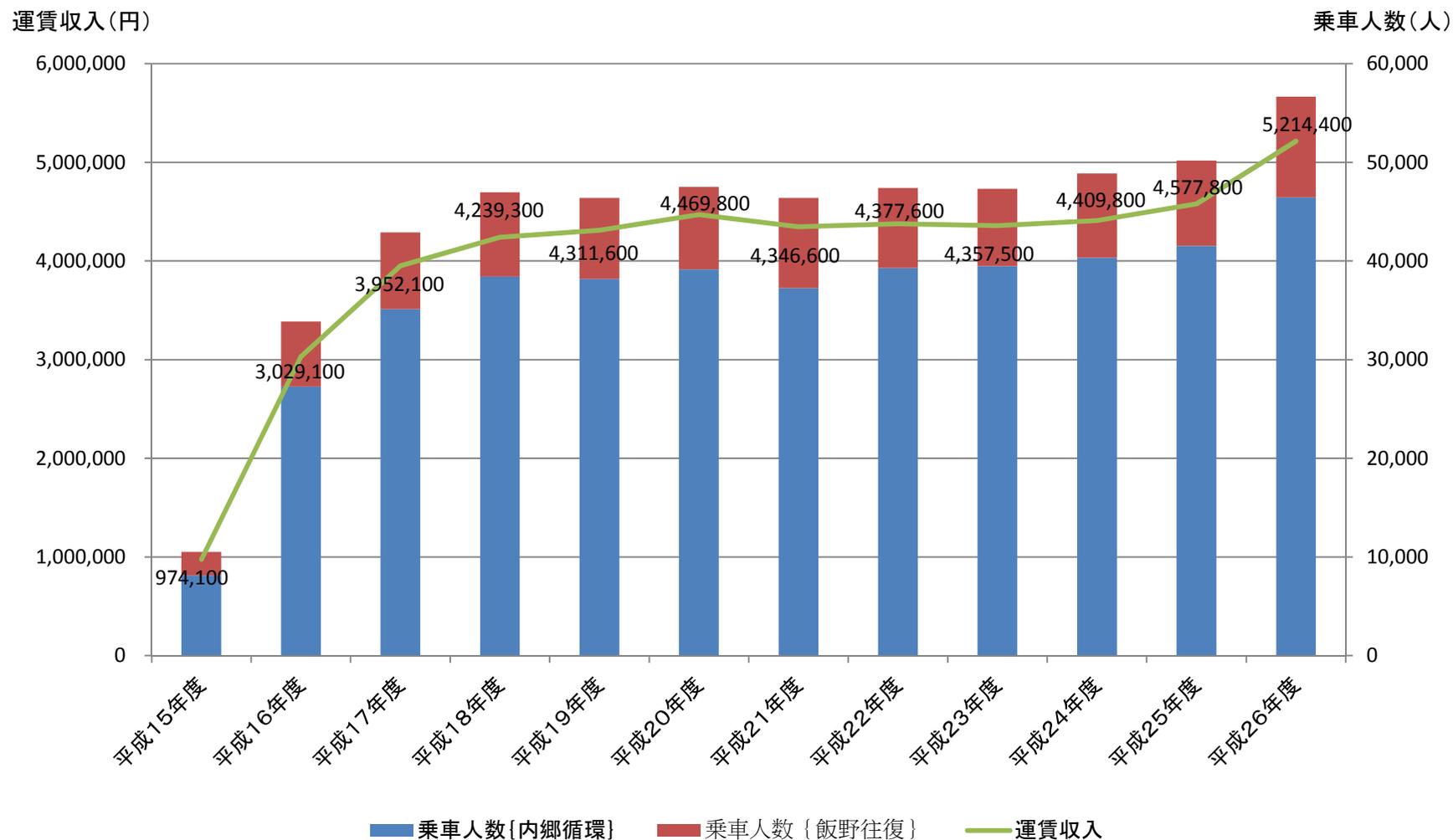
# 計画策定のスケジュール・作業概要



### 3 佐倉市循環バスの実績報告

---

# 年度別乗車状況及び運賃収入



# 佐倉市循環バスの平成26年度実績

## 乗車人数

- 56,659人
- 前年度比で6,478人の増加

## 運賃収入

- 5,214,400円
- 前年度比で636,600円の増加

## 考察

- 過去最大の利用状況
- ルート沿線施設でのイベント開催時の利用定着などが要因の1つと考えられる